

はらっぱ

令和6年5月24日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第2号
文責 校長：石澤 友章



自分たちのくらしを 自分たちでつくる ～「自分ごと」として取り組む児童会活動～



←学校HPでも
子どもたちの様
子を紹介してい
ます。

スローガン

明るいあいさつ、
守ろうルール、みんな笑顔

重点①「あいさつ」

明るいあいさつが、学校中にひびき
わたるような取り組みをしていきます。
(例 あいさつの木・あいさつ隊)

重点②「ルール」

全校生がルールを守り、安心安全に
過ごせるような取り組みをしていきます。
(例 筆箱チェック、ろう下歩行)

重点③「笑顔」

たばいに感謝を伝え合い、笑顔の
輪が広がるような取り組みをしていきます。
(例 ありがとうの花)

児童会活動がスタートしました。児童会活動は子どもたち自身が「自分の学校をどうしたいか」という願いをもって活動を工夫することができる、当事者意識や主体性を育む学校づくりにとって、極めて重要な教育活動だと思っています。

計画委員会が、より良い学校になるためにと言葉を選び考えてくれたスローガンは「明るいあいさつ・守ろうルール・みんな笑顔」です。各学級では、このスローガンと3つの重点、そして各委員会の計画について話し合いが行われました。子どもたち自身が、気づき・考え・行動することは、何よりも子どもに力がつくことです。どの学級でも、黒板に一杯の意見が出され、自分たちのくらしを自分たちでつくって、いこうという気持ちが伺えました。

また、代表委員会の様子を覗いてみると、参加者全員が本気になって考える雰囲気がいっぱい溢れていました。同時に、スタートして間もないながら、計画委員会が自信を持って会を運営している姿を頼もしく思いました。前年度末からしっかりと準備をして進級したことが伝わってきて、ますます今年度の児童会の活躍が楽しみになりました。



提案者を大切にできる聞き方ができる参加者たち

～あいさつの木～

早速、重点①について、全校生がさわやかなあいさつを響かせてほしいという願いを込めて、計画委員会が「あいさつの木」の取り組みを行いました。クラスごとに目標人数をカウントしてその数に応じた枚数の葉っぱを昇降口前の「あいさつの木」に貼り付けるといふものです。がんばったことが可視化され、励みとなり更にあいさつが増えていくことを子どもたちも実感したようです。その期間を通じて、朝の登校時に私の前を通過する子どもたちの中で、自分から先にあいさつを出したり、私と目をあわせてさわやかにあいさつをしたりする子が間違いなく多くなったと感じました。あいさつを交わすことの心地よさを感じたことで、今後もさらに子どもたちの声が響き合うことを信じます。



3本目まで増えていったあいさつの木

～なかよしたてわり活動～

今年は、異学年交流の機会を増やすために、新しく「なかよし委員会」がつくられました。委員会として立ち上げることで、子どもたちが願いをもって企画できることとなります。なかよし委員会では「いじめゼロ・全学年仲のよい学校」にすることをめあてにしており、今年は年間8回のたてわり交流を計画してくれました。また、今年は1つの班に全学年が揃い、リーダーは全て6年生が務めま



す。その顔合わせの会が、5月16日(木)に行われました。はじめは何となくよそよそしい感じの自己紹介の後、メンバーの名前を覚えるための工夫がされたゲームを始めると、6年生の優しいかわり方もあり、しだいに盛り上がり、見る間に打ち解けていきました。誰かれなく仲よく遊ぶ子どもたちを見ていると、こちらまで幸せな気持ちになるのと同時に、異学年で集うことが減少している現代だからこそ、その機会を保障してあげることの必要性を痛感したところです。

「自分の命は自分で守る」ということ

～子ども、教職員、地域みんなて 交通安全を願って～

通学班長を先頭に、子どもたちは安全に気を付けて学校にやってきます。本校のように、これだけの交通量のある大きな道路を、これだけ多数の児童が横断して登校する学校は、他にないと思います。



5月10日(金)に、「交通安全を願う会」を行いました。キーワードは「感謝」と「決意」です。

お世話になっている方々をお招きして、感謝の気持ちを伝えると共に、「自分の命は自分で守る」ことを全員で誓いました。6名の方々からも「みんなの元気な姿を見ると自分も元気になる」「元気にあいさつをしてうれしい」など、子どもたちの励みになるメッセージをいただき、とてもありがたく思いました。会の中で、児童

お招きした方々(左から)

セーフィポーターズ会長 荒生光男さん、副会長 岡崎茂さん、交通安全指導員 堀井 幹雄さん、小関 栄悦さん、小島真澄さん、阿部行秀さん

代表で計画委員の東海林ももさんが決意の言葉を述べてくれましたので紹介します。

児童代表決意の言葉(計画委員 東海林ももさん)

私は、班長として気をつけていることが2つあります。1つ目は、班の人たちを安全に連れていくことです。道路は公の場所です。自分たちだけが使う場所ではないことを忘れずに、1列でしっかりと歩いていきます。2つ目は、皆さんに明るいあいさつをすることです。皆さんが毎朝見守ってくださることは当たり前前ではないということを忘れずに、班員全員で明るいあいさつを心がけます。みなさんもお身体に気をつけて、これからも私たちのことを見守ってください。(紙面の都合上 一部省略)

子どもたちの安全のために

～あかとうございました～

長い間交通指導員を務めてくださった芦野せつ子さんが、4月いっぱいでお辞めになりました。最終日には、お世話になったからとお礼のあいさつに来てくださった保護者の方もいたそうです。いつも明るく子どもたちを見守っていただきました。本当にありがとうございました。



～よろしくお願ひします～

芦野さんに代わって、阿部行秀さんが5月から交通指導員を務めてくださっています。阿部さんは南館にお住まいで、子どもたちや学校のためにと思い応募してくださいました。後任がなかなか見つからない地区も多い中、本当にありがたいことです。どうぞよろしくお願ひします。

